

要 請 書

「豪雪に対する除排雪経費への支援要請」

平成26年2月

北海道市長会

豪雪に対する除排雪経費への支援要請

北海道では、今冬、日本海側などを中心に大雪に見舞われ、低温状態が続いたこともあり、空知、石狩、上川、後志、留萌管内と広範囲に渡り、平年を大きく上回る積雪となっております。

この大雪は、バスなどの運休やタイヤの乱れなど交通障害を引き起こしたほか、除雪作業中の事故等による死傷者の発生など、市民生活に深刻な影響を与えております。

このような状況の中、除排雪に要する経費が大幅に増嵩し、早くも多額の補正予算の編成を余儀なくされており、今後、融雪期までの降雪を考えると、財源確保に苦慮しているところであります。

つきましては、これらの実情をご賢察のうえ、下記の財政支援について強く要望いたします。

記

特に、空知、石狩、上川、後志、留萌管内の都市について、次の事項を十分反映していただきたい。

- 1 特別交付税の配分にあたっては、今回の特殊事情を適確に反映させること。
- 2 全国的な豪雪災害であることを踏まえ、「幹線市町村道除雪費補助の臨時特例措置」を適用すること。

■北海道内の都市における主な被害状況等

◎ バスなど公共交通機関への影響

【江別市：1/6、1/14、1/23 一部の路線でバスの通行が困難になり、ダイヤの乱れや運休が発生】

◎ 雪による道内の死亡者9名、重軽傷者226名（1月30日現在）

【札幌市において死者2名、三笠市・滝川市・砂川市・深川市において死者各1名】

◎ その他

【岩見沢市：1/14～1/16 生活に支障がある高齢者や障がい者世帯等へ除雪を実施】

■主な都市の降雪量・積雪深などの状況

（平成26年1月31日現在）

【北海道市長会調べ】

		累計降雪量(cm)		積雪深(cm)		最大積雪深(cm)		平成25年度除雪関係予算(千円)	
		平年	平成25年度	平年	平成25年度			当初予算	補正予算 (予定を含む)
空知	三 笠 市	646	808	113	132	1月15日	160	174,998	60,000
	岩 見 沢 市	498	472	86	99	1月15日	144	809,059	786,080
	砂 川 市	758	569	113	105	1月13日	135	260,906	63,000
	深 川 市	626	474	83	104	1月14日	121	621,482	10,000
	歌 志 内 市	578	765	76	102	1月29日	115	71,146	40,000
	赤 平 市	723	908	58	97	1月29日	103	149,462	(検討中)
	芦 別 市	349	444	49	88	1月14日	98	174,900	75,000
	美 唄 市	481	770	62	73	1月16日	97	449,692	(検討中)
	滝 川 市	514	576	72	85	1月30日	96	427,030	104,061
石狩	石 狩 市	359	458	76	122	1月22日	142	665,714	150,000
	江 別 市	361	505	83	102	1月23日	141	782,637	220,000
	北 広 島 市	265	329	65	75	1月23日	92	286,640	45,398
上川	士 別 市	437	553	90	135	1月12日	146	387,434	18,006
	名 寄 市	445	447	88	111	1月30日	111	397,082	26,383
	旭 川 市	349	396	54	78	1月14日	84	2,005,441	266,000
後志	小 樽 市	371	445	85	104	1月23日	123	945,000	350,000
留萌	留 萌 市	406	410	59	76	1月22日	94	585,853	137,400

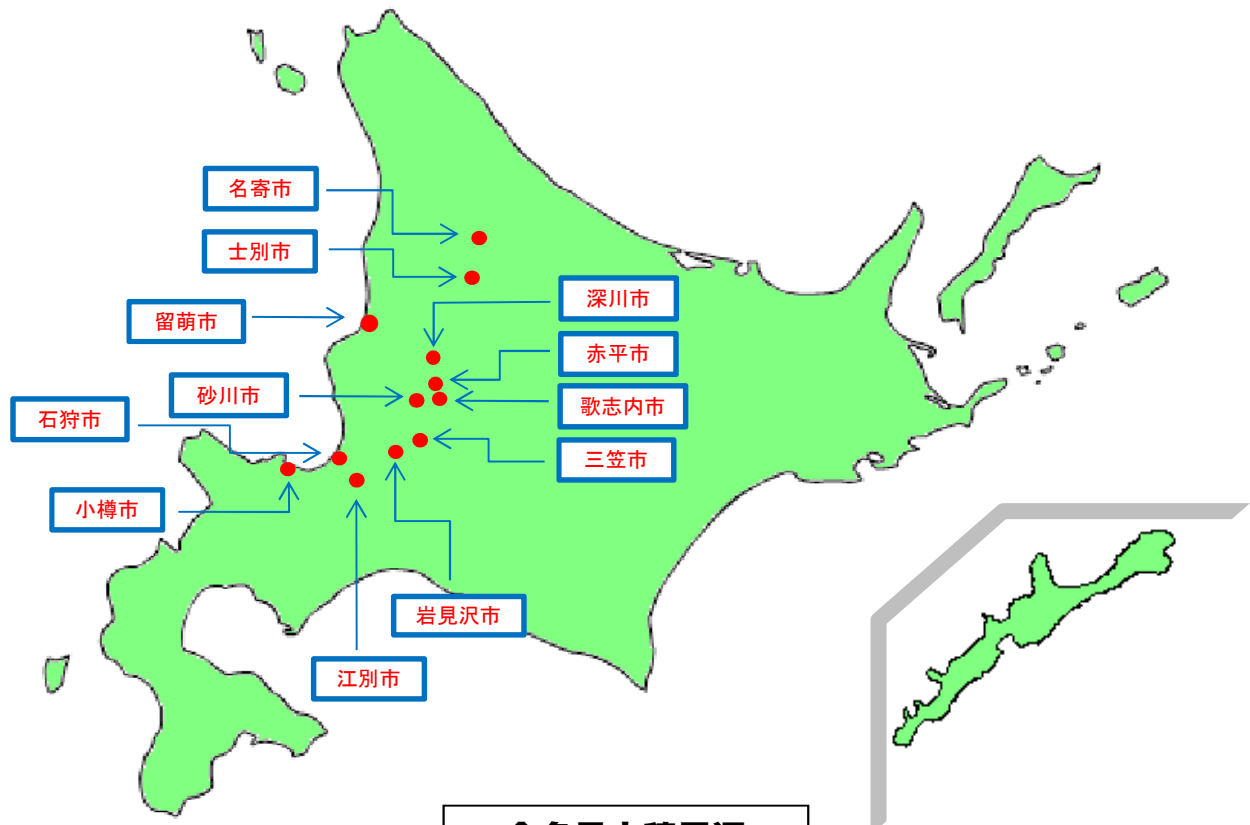
※赤色の市は最大積雪深100cm以上、青色の市は最大積雪深80cm以上100cm未満

※江別市、赤平市、三笠市の平年値は過去5年間の平均

※旭川市は過去10年間の平均

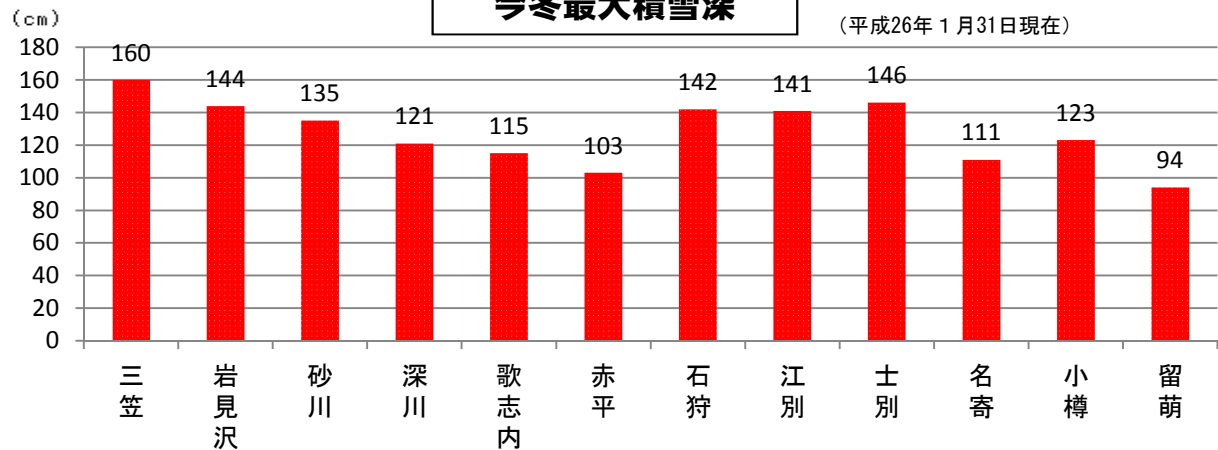
- 【空知管内の都市】夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市
砂川市、歌志内市、深川市
- 【石狩管内の都市】札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市
- 【上川管内の都市】旭川市、士別市、名寄市、富良野市
- 【後志管内の都市】小樽市
- 【留萌管内の都市】留萌市

【主な都市の降雪状況等について】



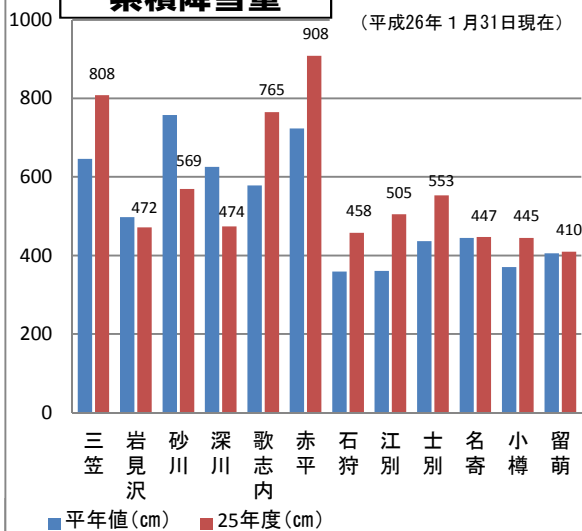
今冬最大積雪深

(平成26年 1月31日現在)



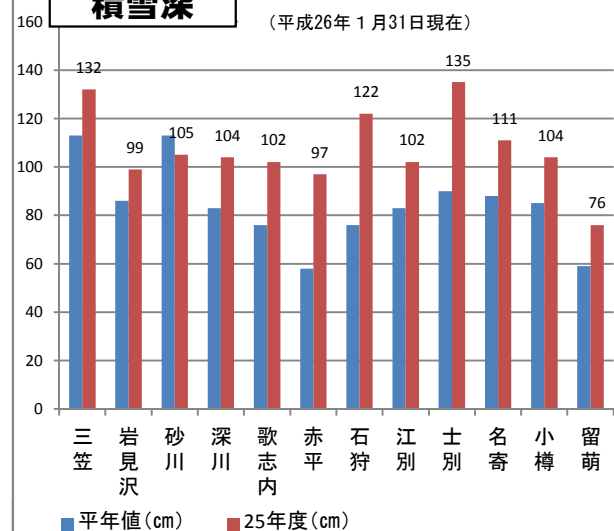
累積降雪量

(平成26年 1月31日現在)



積雪深

(平成26年 1月31日現在)



どか雪 市民うんざり

江別市積雪141センチ 過去8年で最多

【江別】江別は今冬も大雪に見舞われている。市土木事業所の観測で、21日朝から23日朝までの2日間に82センチの雪が降り、23日午前9時の積雪は過去5年平均の1・62倍の141センチに達した。今季の累積降雪量も1・48倍の489センチとなり、どちらも市に資料がある2007年以降の8年間で最多となった。市内の道路の道幅は狭まり、車両の接触事故や路線バスの遅れなど生活にも影響が出ている。

(竹内林佑)

札幌管区気象台によると、冬型の気圧配置が強まった影響で、強い寒気が江別上空に入り込み、雪雲がとどまったことから、断続的に雪が降り続いた。

元江別本町の住宅街に囲まれた市土木事業所の観測地点で、22日午前9時までの24時間降雪量が36センチ、さらに23日午前9時までの24時間で46センチ降った。

気象台の観測による同時刻の積雪は、近隣の豪雪地では新篠津村が155センチと江別より多いが、石狩市135センチ、小樽市119センチ、岩見沢市117センチは江別より少なく、札幌は73センチで半分だ。

江別市は22、23日の深夜に市道の除雪を実施した。排雪が間に合わず、市道各路線は道幅が狭まり、路面はでこぼこが目立つ悪路となった。

幹線の一つの市道3番通は、これまでの雪で既に片側2車線が1車線になっていて、さらに高さ2メートル以上の雪壁が道路にせり出し

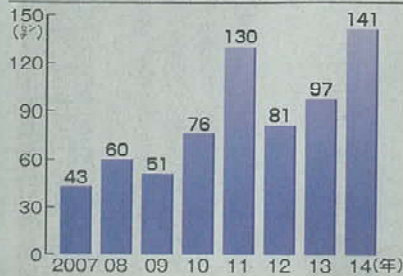
除雪追いつかず苦情400件／接触事故も多発



てきている。また、生活道路では対向車とすれ違う余裕がなく、23日の日だけで対向車との接触など物損事故が12件発生。市内を走る路線バスは、23日午前中には各路線で20分ほどの遅れが出ていたという。

除雪に追われる市民も目立ち、野幌代々木町の無職大野峻さん(70)も連日、除雪機をフル回転させた。大野さんは「こんなに多くの雪が降り続いた記憶はない。毎日の除雪に嫌気がさ

1月23日現在の江別の積雪



市に寄せられた苦情も急増。「道が狭い」「早く排雪してほしい」「除雪作業後に自宅前に雪が残っている」などの声が22、23日の2日間で、通常の倍以上の400件以上が寄せられた。

今冬の市の除雪出動は23日時点で11回に達している。06年度以降では10年度の12回に次ぐ出動回数となり、市は除排雪費の追加補正を検討している。

積雪量141センチを記録した土木事業所の観測地点



道内は今冬、日本海側などを中心に降雪に見舞われ、積雪の深さが後志管内俱知安町や岩見沢市などで平年の倍近くに達している。札幌管区気象台によらば、今年に入って全道的に低温状態が続き、積もった雪が解けにくくなっているという。道内各地で日常生活に影響が出始めている。連日の低温で流雪薄が止まった俱知安町や、市職員が高齢者宅の除雪に追われる岩見沢市から、雪害の現状も報告する。

■ 今年
 □ 平年値
 (単位: 人)

市町村	今年 (人)	平年値 (人)
留萌市	183	125
旭川市	73	58
小樽市	93	66
石狩市	115	58
倶知安町	188	116
岩見沢市	132	73
西館市	30	19
札幌市	53	51
新篠津村	162	67
網走市	216	164

せんなど。

日本海側や道央で雪
害が相次ぐ道内。札幌
とを要因に挙げる。

今冬は昨年11、12月の主要22地点の平均気温は平年を上回った。

型の気圧配置に。同気象台は「22地点で1〜降りやすいという。

のを待つしかない」と、
お手上げ状態だ。

流雪溝止まり「お手上げ」

【倶知安】後志管内
倶知安町は市街地にあ
町を除排雪の“生命線”
みて、豪雪で知られる
が断たれている。
冷え込みで放水口周

市職員が高齢者宅巡回

雪が流れなくなつてし
なごわずかな空きスベ
ースを探したりしてし

（生田憲）
が立っていない。

倍の1.8倍、岩沢沢
市で同1.8倍の1.3
2倍となるなど、道内
118観測地点のうち
ほぼ半数の56地点で平
年を上回っている。同
気象台は低温で雪が解
倍の1.62倍、石狩市
で同1.9倍の1.15

【倶知安】後志管内
倶知安町は市街地にあ
る4系統の流雪溝（総
延長7キロ）が全て止ま
って15日で4日目を迎
えた。住民が投げ捨て
た雪を川まで流す仕組

みて、雪で知られる町が断たれている。
町の除排雪の“生命線”
冷え込みで放水口周

市職員が高齢者宅巡回

流雪溝への投雪禁止を示す赤旗が立ち並ぶ中、除雪に追われる倶知安町民＝15日午前9時、倶知安町北3東1

高師者毛で除雪状況を確認する岩見沢市職員
(右) 11月16日午前9時35分 岩見沢市春日町

か3人」を経て高齢者や障害者宅を訪問、安否確認などを行う「支援活動」を本格化させた。

午前10時、山根セツさん(80)の自宅周辺は、雪ですっぽりと覆われていた。雪かきに追われる毎日で、「買っ

た物も大変。」「岩見沢を離れたら」と言われることもあれば、愛

媛県が安否確認などに

が雪に埋まっていな

前中に計39世帯を回

り、うち2世帯では玄

関前の除雪も行った。

支援活動は、201

1年度の記録的な豪雪

を機に昨年度から実

施。マニュアルも無い

まま、市健康福祉部の

職員が安否確認など

に

班應努で75歳以上の

者を巡るす計画だ。

「職員が円滑に動

き回った。」「活動

は順調」と菅原清次

副介護室長。また

はこれからが本番と

して、日常的な空き

のバトロールなど、警

戒を強めている。

(鹿内明代



【江別市】



【岩見沢市】



【三笠市】



【小樽市】